

兵庫医科大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

研究課題名	「腓骨皮弁挙上の学習時間の後方視的研究」
対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
2011年4月1日から2023年3月31日までに新潟大学医歯学総合病院・兵庫医科大学病院で下腿の遊離皮弁の一つである腓骨皮弁の手術を受けた患者さんが対象です。	
概要	手術では様々な遊離皮弁や有茎皮弁が用いられています。その中で腓骨皮弁は皮弁の手術の中でも難易度が高いです。若手の医師がどれぐらいの経験をすれば習得できるのか、その症例の手術時間を参考に対象を後ろ向きに検討し、学会報告します。
受付番号	4581
研究の目的・意義	遊離皮弁移植は、皮弁を採取し、採取した皮弁の血管と移植部の血管を吻合し、その後皮弁を配置する過程があります。この技術・知識が必須である遊離皮弁移植による再建術は形成外科医・再建外科医の主要な手技の一つであります。その中で腓骨皮弁移植の難易度は非常に高いと考えられています。その手術の学習時間の報告はなく、経験の浅い術者の経験必要量が不明であります。そこで今までの腓骨皮弁移植術手術の一部の手術時間を検討し、経験の浅い術者の経験必要量を算出します。
研究期間	2024年3月7日から2024年9月30日まで
情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	カルテに保存されている対象の手術を受けた患者さんの病歴、臨床画像・動画を利用させていただきます。 使用するデータは個人が特定されないように致します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
利用または提供する情報の項目	病歴（手術時年齢、性別、原疾患、手術日、腓骨皮弁採取までの時間、腓骨皮弁皮島の有無、手術に参加した外科医名）
利用する者の範囲	新潟大学および以下の共同研究機関等で利用いたします。 新潟大学 形成外科 曾束洋平 共同研究機関：兵庫医科大学 形成外科 垣淵正男
¹⁰ 試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学 形成外科 曾束洋平 共同研究機関：兵庫医科大学 形成外科 垣淵正男
¹¹ お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。 所属：兵庫医科大学形成外科 氏名：曾束洋平 / 垣淵正男 Tel：0798-45-6753 E-mail： sotsuka@hyo-med.ac.jp